

しない経営



デジタル化が加速し、不確実性が高まる現代。多くの日本企業はこれまで、成長のために機能を足し、組織を複雑にする「足し算」の経営を積み重ねてきました。しかし、かつての成功法則だったその重装備が今、むしろ変化への足かせとなっていないでしょうか。

本特集では、当たり前とされてきた常識に静かな「問い」を投げかけます。過去の成功体験を捨てる「アンラーニング」、管理や階層をあえて排した「自律的組織」、そして過剰を削ぎ落とす「引き算」の経営発想に焦点を当てました。

目の前の仕事や慣習に、一度立ち止まって「？」を突きつけてみる。本当に必要なものは何か。「何をやるか」以上に「何をやらないか」を決める勇気が、次代を勝ち抜く本質的な価値を浮き彫りにしてくれるはずです。

-
- 01 デジタル時代に求められる「アンラーニング」

小野 和俊

-
- 02 「しない経営」が導く次のアタリマエ

柴田 紳

-
- 03 会社を強くする「引き算」の発想

岩崎 邦彦
